

岐阜県図書館

平成 26 年度アクションプラン

—岐阜県図書館の使命を果たすために—

【はじめに】

岐阜県図書館は、平成 25 年度末に 26 年度から 5 年間の方針を新たに「岐阜県図書館の運営方針 平成 26 年度～平成 30 年度」として決めました。この中に掲げた当館の「使命」は次のとおりです。

—岐阜県図書館の使命—

「岐阜のひとづくり、ものづくり、まちづくりを支えます」

(1) 資料の収集・保存・提供を通じて、県民の生涯学習と個人や地域の課題解決を支援します。

(2) 県の中核図書館として、県内市町村図書館等のサービス向上を支援します。

「岐阜県図書館の運営方針 平成 26 年度～平成 30 年度」には、この「使命」を果たすために、4 つの柱立ての下、6 つの「目標」と 44 の「方策」を記しています。

【アクションプランについて】

当館では、この「運営方針」を着実に実施していくため、さらに年度ごとの具体的実行計画を「アクションプラン」として作成しました。「アクションプラン」には、「運営方針」に掲げられた目標を達成するために、その年度に重点的に実施する取組を記しています。

具体的には、「資料の収集・保存」「図書館サービス」「県内市町村図書館等への支援」「職員研修・広報活動」という 4 つの柱ごとに、「目標」、前年度明らかになった「課題」とそれに対する「新たな取組」「継続する取組」を記しています。また、それぞれの取組の成果を検証しやすいよう、可能なものについて数値目標を設定しています。

当館は、以下に記した 26 年度の取組を着実に実行に移し、県図書館としての使命を果たしたいと考えています。

1 資料の収集・保存

(1) 目標

県民の生涯学習と個人や地域の課題解決を支援するため、専門性の高いもの、特色あるものを中心に資料を収集・保存します。

(2) 平成 25 年度図書館評価によって明らかになった課題

点検及び評価の結果、課題として次のことが挙げられました。

- ・開館して 18 年が経過し資料が大幅に増加したため、資料の保管スペースが減少している。
- ・館内の案内表示等に利用者にとってわかりにくい点がある。

こうした結果をふまえ、平成 26 年度、以下の取組を実施します。

(3) 平成 26 年度の取組

<新たな取組>

取 組	具体的内容
ア 今後の資料収集計画を視野に入れた保管スペースの検討	今後の保管スペースの減少を見込んで、資料収集及び保管スペース確保の計画を立て、可能な対策を実施します。
イ 利用しやすい館内表示の検討	図書館利用者にとってより利用しやすくセンスあるものになるよう、館内表示の見直しを図ります。

<継続する取組>

個別、専門的なニーズや課題に迅速・的確に対応できるよう、次の取組を継続します。

- ・県行政や地域の課題解決支援に資する専門性の高い資料の収集
- ・レファレンスサービスや「しらべかた案内」(パスファインダー)に連動した資料収集
- ・郷土資料や地図関連資料、児童図書研究室資料等の重点収集
- ・所蔵する CD-ROM や DVD-ROM の利用環境整備

2 図書館サービス

(1) 目標

- ① 県民の読書活動を生涯にわたって支援し、図書館を生かした学びの機会を提供します。
- ② 行政機関や社会教育機関、地域の企業等と連携しながら、資料の提供・レファレンスサービス等を通じて県民や地域の課題解決を支援します。
- ③ コンピュータシステムによる検索機能の強化、特色ある資料のデジタル化の推進、インターネット等を活用した情報発信の充実によって、情報サービスの向上を図ります。

(2) 平成 25 年度図書館評価によって明らかになった課題

点検及び評価の結果、課題として次のことが挙げられました。

- ・生涯学習の支援や読書活動の支援のために、図書館の資料や施設がまだ十分に活用されていない。
- ・地域の課題解決の支援のためには、行政機関をはじめとする他機関との連携を今以上に進める必要がある。
- ・利用者が図書や地図等をよりスムーズに検索するコンピュータシステムの整備が必要である。また、普及しつつあるスマートフォン等の新しい情報端末に対応する情報サービスを充実させる必要がある。

こうした結果をふまえ、平成 26 年度、以下の取組を実施します。

(3) 平成 26 年度の取組

① 生涯学習の支援及び施設を利用した学習機会等の提供

<新たな取組>

取 組	具体的内容
ア 高校を対象にしたセット文庫の整備	小・中学校・特別支援学校に加えて、高校を対象にしたセット文庫を整備します。
イ 特集コーナー設置による読書活動支援	年に数回特集コーナーを設置し、タイムリーな話題に係る図書を提供し、読書活動を支援します。
ウ 文化・学術活動やまちおこしの場の提供	生涯学習等支援に係る図書館資料や施設の利用増進のためにいろいろな機会を利用して広報活動や働きかけを行います。

<継続する取組>

子どもたちの読書活動の支援のため、また障がいのある方等へのサービスを向上させるため、次の取組を継続します。

- ・児童図書研究室資料を活用した、子どもと本を結ぶ活動・研究の支援
- ・児童図書研究通信の発行
- ・対象別おはなし会の実施
- ・視覚障がい者サービス協力者音訳講習会中級課程の開催

② 課題解決の支援と他機関との連携

<新たな取組>

取 組	具体的内容
課題解決支援のための行政機関との連携の模索	行政にかかわる課題解決支援の仕組みづくり等について調査研究し、可能なことを実施していきます。 <ul style="list-style-type: none"> ・行政機関との連携の仕組みづくり ・県政情報に関するテーマ展示 ・岐阜県公報閲覧の利便性向上

<継続する取組>

課題解決支援のためにレファレンスサービスの質的向上や、課題に沿った「しらべかた案内」(パスファインダー)づくりを進めるため、以下の取組を継続します。

- ・レファレンスサービスや「しらべかた案内」(パスファインダー)に連動した資料収集(前掲)
- ・図書館活用講座の開催
- ・課題に沿った「しらべかた案内」(パスファインダー)の作成・充実、利用促進

③ 情報サービスの充実

<新たな取組>

取 組	具体的内容
ア 蔵書等検索の利便性向上	県図書館が所蔵する図書や地図等の資料やデータを一括検索できるシステムを構築します。
イ 「岐阜県総合目録」の利便性向上	「岐阜県総合目録」における、県内図書館所蔵資料の一括検索機能の向上を図ります。
ウ 新しい情報端末への対応	スマートフォンやタブレット端末を使った蔵書検索をやすくします。

<継続する取組>

当館の地図資料や郷土資料の一層の研究・活用のため、次の取組を継続します。

- ・地図資料のデジタル化とインターネット上での公開
- ・岐阜県関係新聞記事のデータベースの充実
- ・デジタル化された資料のインターネット上での公開
- ・「しらべかた案内」(パスファインダー)のインターネット上での公開

3 県内市町村図書館等への支援

(1) 目標

市町村図書館等の相互協力や連携の推進、職員の資質向上に努め、県内図書館のサービス向上を支援します。

(2) 平成 25 年度図書館評価によって明らかになった課題

点検及び評価の結果、課題として次のことが挙げられました。

- ・ 図書館間の相互協力の推進のために、相互貸借のシステムにまだ改善できる余地がある。
- ・ 職員の資質向上のために、県図書館職員の派遣や市町村図書館職員の受け入れを要望する声にこたえる必要がある。
- ・ 県内市町村図書館のサービス向上のために、コンピュータネットワークの機能を充実させる必要がある。

こうした結果をふまえ、平成 26 年度、以下の取組を実施します。

(3) 平成 26 年度の取組

<新たな取組>

取 組	具体的内容
ア 相互協力の充実	相互貸借の利用状況をコンピュータ画面上で確認できるようシステムの改良に取り組みます。また、相互貸借の協力館の増加に取り組みます。
イ 職員の派遣や受入れ等による研修の実施	図書館支援のための当館職員の派遣（短期）や他館職員の受入れにより、市町村図書館等職員の資質向上を支援します。
ウ ホームページ上の掲示板による情報共有	ホームページに図書館間の掲示板機能を新設することにより研修情報・調査結果等の情報共有を図り、図書館間の連携を深めます。
エ 平成 27 年度全国公共図書館研究集会（児童・青少年部門）の開催準備	平成 27 年度に開催される全国公共図書館研究集会（児童・青少年部門、日本図書館協会との共催）の準備を進めます。

<継続する取組>

県図書館が県の中核図書館として県内市町村図書館等への支援をするため、以下の取組を継続します。

- ・ 市町村図書館等職員に対する階層別目的別研修の実施

- ・県内市町村図書館等への巡回による助言・指導
- ・児童サービス実践研修講座の実施

4 職員研修・広報活動

(1) 目標

多様な研修によって職員の資質向上に努めるとともに、効果的な広報活動の実施により、県図書館の周知の向上に努めます。

(2) 平成 25 年度図書館評価によって明らかになった課題

点検及び評価の結果、課題として次のことが挙げられました。

- ・県図書館の周知を図るため、広報について一層工夫する必要がある。
- この結果をふまえ、平成 26 年度、以下の取組を実施します。

(3) 平成 26 年度の取組

<新たな取組>

取 組	具体的内容
新しいコミュニケーションツールを駆使した情報発信	SNS 等の新しいツールを使った新たな情報発信の方法を開発します。

※SNS＝ソーシャル・ネットワーキング・サービス。インターネット上の交流を通して社会的ネットワークを構築するサービスのこと。

<継続する取組>

当館職員の資質を磨き図書館サービスの向上を図るため、また一層当館の周知を図るため、以下の取組を継続します。

- ・館内での会議等を利用した研修の実施
- ・他団体の主催する研修会への職員の積極的な派遣
- ・ホームページの一層の充実による情報発信
- ・地図作品展や地図活用研究会の成果を活用した授業の実施による当館地図資料の広報
- ・図書館活用講座の開催（再掲）
- ・行政機関との連携事業（再掲）
- ・図書館見学の受け入れ

数値目標（平成26年度）

○図書館サービス

指標		H21	H22	H23	H24	H25	H26
県図書館レファレンス件数 （所蔵・口頭を除く）	目標	9,000件	9,800件	10,600件	8,400件	8,800件	8,000件
	実績	7,092件	7,654件	8,026件	6,928件	8,027件	
	達成率	79%	78%	76%	82%	92%	
県行政機関（県職員）からのレファレンス件数	目標	-	35件	90件	48件	53件	55件
	実績	29件	40件	35件	32件	58件	
	達成率	-	118%	39%	67%	109%	
県図書館レファレンス満足度	目標	-	-	80%	85%	90%	90%
	実績	-	69%	73%	61%	90%	
	達成率	-	-	91%	72%	100%	
児童図書研究室資料のパッケージ新規作成件数	目標	-	5件	2件	5件	2件	2件
	実績	-	5件	5件	5件	4件	
	達成率	-	100%	250%	100%	200%	
セット文庫貸出校数	目標	-	97校	100校	100校	100校	90校
	実績	81校	96校	71校	80校	84校	
	達成率	-	99%	71%	80%	84%	
学びの場の施設提供件数	目標						120件
	実績					109件	
	達成率						
郷土新聞記事検索及び郷土関係雑誌記事索引データ作成件数	目標						8,000件
	実績						
	達成率						
地図等のデジタル化件数	目標						400件
	実績						
	達成率						
窓口サービス満足度（総合含む）	目標						90%
	実績			78%	75%	89%	
	達成率	（各年度の総合受付満足度+窓口サービス満足度）÷2で計算					

○県内市町村図書館等への支援

指標		H21	H22	H23	H24	H25	H26
県民一人あたりの貸出数（県内全図書館）	目標						5.3冊
	実績	5.35冊	5.31冊	5.33冊	5.25冊	調査中	
	達成率						
県内相互貸借定期便 資料流通点数	目標						22,000点
	実績		21,320点	21,584点	23,770点	22,160点	
	達成率						
県図書館が主催する県内図書館職員向け研修会における満足度指数	目標	75%	80%	85%	90%	90%	90%
	実績	89%	88%	93.3%	96%	98.6%	
	達成率	119%	110%	110%	107%	110%	

○職員研修・広報活動

指標		H21	H22	H23	H24	H25	H26
他団体が主催する講座・研修会への職員派遣数（のべ）	目標						25講座
	実績					23講座	
	達成率						
県図書館ホームページアクセス件数	目標	300,000件	350,000件	350,000件	350,000件	350,000件	300,000件
	実績	350,858件	315,830件	272,155件	285,008件	266,811件	
	達成率	117%	90%	78%	81%	76%	